

受講生の声

- ・今までの研修と違い、内面（自分の心）に響くような研修でした。
- ・私にとってひとつの転換となる講座になった。
- ・講座の範囲、質、レベルは満足するものであった。
- ・半日受講で5日間という形式はよかった。
- ・若手からベテランまですごくいい刺激になると思います。
- ・ずっとお話を聴いていたい。とても強いエネルギーを受けました。
- ・実業務に関する問題をショートストーリーという演習で、皆に評価してもらえる場が貴重でした。
- ・自分自身の経験をショートストーリーで提出し、これを題材にチームでディスカッションして皆の意見や評価が得られることは非常に価値のある研修でした。
- ・実際のプロジェクト事例でどういった点を考えるべきかの解説・説明があり、姿勢についても役立つ。

受講料

162,000 円(税込) 1人/全5回

- ・欠席した場合、欠席した分の返金はできませんことをご了承ください。
- ・全5回出席者には、20PDUsの付与と受講認定証が授与されます。

会場

■ アイ・ラーニング研修センター <茅場町>

〒103-0015

東京都中央区日本橋箱崎町 4-3 国際箱崎ビル

<最寄駅>

- ・地下鉄東西線 / 日比谷線：茅場町駅 4 番 b 出口より徒歩 5
- ・地下鉄半蔵門線：水天宮前駅 2 番出口より徒歩 5 分



お申込み・お問合せ

- コースの詳細情報、日程情報、お申し込みは Web から！
http://www.i-learning.jp/service/projectmngmnt/topics/promana_15.html
- お問い合わせ先 フリーダイヤル：0120-623-629 <土・日・祝・弊社休業日を除く 9:00~17:00>
eメール：contact@i-learning.jp



株式会社 アイ・ラーニング

本社：〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町4-3 国際箱崎ビル
大阪：〒540-6111 大阪府大阪市中央区城見2-1-61 ツイン21MIDタワー11F

●アイ・ラーニングは、次代を担う人材の育成を支援します。

20181011_プロマネ塾_FA091-02



FA091

実践!プロマネ塾

第16期生
(全5回)
募集

PMI 日本支部前会長 神庭弘年氏が指導する 『できるプロジェクト・マネジャーを育てる“実践!プロマネ塾”』

情報システム開発プロジェクトの成功率は依然 30% 台にとどまっています。情報システム開発において、多くのプロジェクトが失敗している要因の一つにプロジェクト・マネジャーの振る舞い(行動)が不適切であることがあります。プロジェクトマネジメントの知識はあるが、プロジェクトのいろいろな場面でその知識を十分に活かした振る舞いが適時、適切にできず、結局プロジェクトが失敗してしまうということです。持っている知識を活かした適切な振る舞い方を必要なとき発揮できれば、プロジェクトの成功は一段と高まります。

“実践!プロマネ塾”では、プロジェクトのいろいろな場面で、プロジェクト・マネジャーが適切に振る舞うためにどうしたらよいのか、その対処方法や取るべき行動について、多くのプロジェクトの成功体験を持つ PMI 日本支部前会長の神庭弘年氏が、その持てるノウハウの全てを受講者の皆様へ熱く伝授いたします。

できるプロジェクト・マネジャーの育成にお悩みの企業様やプロジェクトマネジメント実践上でのプロジェクト・マネジャーの悩みや課題の解決にお困りの企業様などにお勧めしたいプロジェクト・マネジャーの育成強化講座です。

受講者の皆様におかれましては、全5回の開催になりますので、全日程のご出席をお願いします。なお、本講座ではプロジェクトマネジメントの技法に関する講義や演習は行いません。

日程

第15期募集 <全5回×半日>

- 第1回: 2019年 1月25日(金)
- 第2回: 2019年 2月1日(金)
- 第3回: 2019年 2月15日(金)
- 第4回: 2019年 3月1日(金)
- 第5回: 2019年 3月8日(金)

個別企業開催も実施しております。
お気軽にお問い合わせください。

※首都圏限定となります。

茅場町会場

9:00-13:00



概要

第1回

第2回

第3回

第4回

第5回

目的

- 本講義の内容、目的についての理解
 - ー講義だけでなくWSを多く取り入れていきます
- WSの題材について
 - ー受講者の皆さんが経験した実ケースを使用していきます
 - ー実ケースを作成するための課題 (ShortStory) 記述のお願い
- 実際のチームワーク作り
 - ー5回にわたる研修ですので、実際のチームワーク作りも体験して頂きます

- 第2回からは、参加者の実ケースを題材にした演習も加わります
- 第2回は、プロマネ個人についての成長 (Individual Development) をテーマにしていますので、プロマネとして“一皮むける”経験について考えます
- キャリア・トランジション・サイクルや内省の仕組みについて検討します

- “Who am I” 実施の経験から、自己肯定の“気づき”を得るための考慮点を理解します
- 現実には全戦全勝のプロマネばかりではありませんので、挫折や失敗、果ては降格などの厳しい評価からどう立ち直るのかについて検討します
- 実ケース演習を通じて、悩み、苦しみの扱い方、立ち直るための行動目標の立て方、我流に陥らないための枠組みについて検討します

- 自分の進む道は自分の意志で選ぶという事を考える

- 研修終了後に元に戻ってしまったのでは意味がありません
 - ー継続的にプロマネ能力の向上を図る
 - ー内省のコツを理解する
 - ー後輩の指導や同僚の相談に乗れる
 そのためには、どう振る舞ったらよいかを理解します
- “一皮むける” あるいは “脱皮する”
 - ーこのような成長は誰にでも起こりうるものです
 - ーそのためには取るべき振る舞いについて理解します

講義

- プロジェクト・マネジャーとして、自ら成長していくための基本理念と枠組み
- プロジェクト・マネジャーのコンピテンシー・モデルShortStory作成 (宿題) に向けてなど

- プロジェクト・マネジャー・コンピテンシー・モデルの構造
- プロジェクト・マネジャー・コンピテンシーの能力育成の適用とその効果
- “Who am I” (自分を振り返るため) についてなど

- 職業上のキャリアを考える上で“キャリア・アンカー”と呼ぶ職群についての考え方
- 自己分析と成長のために、どのような手順とカテゴリーで考えたらよいか検討
- 挫折や失敗、果ては降格などの厳しい評価からの立ち直り策を検討

- プロジェクト・マネジャー・コンピテンシー開発体系 (PMCDF) と活用の留意点
- 自分自身で向上していくための方法 (ダブル・ループ・フィードバック) について
- 問題の抽象化、ソリューションの組み立て方、演繹法的に現実的で固有な対策を導き出す思考について

- 支援型リーダーシップについて

Work Shop

- チーム演習
 - よくあるプロジェクトの問題について (プロマネとしての振る舞いについて考える最初のステップ)

- 受講者から提出された実ケース (2~3ケース) について演習

- 受講者から提出された実ケース (2~3ケース) について演習

- 受講者から提出された実ケース (2~3ケース) について演習
 - ー問題を抽象化し、ソリューションを組み立てること、組み立てたソリューションから現実的で固有の対策を導き出す演習

- 実ケースに対する演習
 - ー成果を上げること、成功請負人であることを、具体的な行為で応えるための条件について考えます

宿題

- ShortStoryの作成
 - 第2回以降の演習で使用する題材をご自身が経験したプロジェクトの実ケースで作成していただきます

- “Who am I” の実施
 - ーご自分を振り返る時間を取っていただきます

- ShortStoryの再作成
 - ーここまでの研修内容を加味して、ShortStoryを再作成していただきます

- 現場に戻っても能力向上を継続するために、どんな条件が必要かを考えていただきます

受講対象者

定員16名

プロジェクト・マネジャー* としてプロジェクトの計画や運営管理を実施している方で、

- ・プロジェクト計画や運営管理上解決したい課題や悩みをお持ちの方
- ・より出来るプロジェクト・マネジャーを目指している方
- ・プロジェクト・マネジャーの育成、指導に当たっている方 など

*本研修で対象にしているプロジェクト・マネジャーは、50人月以上 (例、5人以上のメンバーを10ヶ月以上) のプロジェクトの計画や運営管理を実行し推進する責任者として1年以上経験したことが望ましい。

講師紹介

神庭弘年(かんばひろとし)氏

- ・1973年4月 日本アイ・ビー・エム株式会社 入社
- ・2011年6月 同社 退社
- ・同社元理事
 - 兼シニア・エグゼクティブ・プロジェクトマネジメント・プロフェッション
- ・同社元プロジェクトマネジメント・プロフェッション・エグゼクティブ
- ・2014年1月 PMI日本支部会長 (3期6年在任) 退任、理事就任
- ・2016年3月 PMI北東アジア地区メンター就任

